

2017年3月期 第3四半期 決算発表後 IR 活動での Q&A

Q：全体：来期以降の次期中期経営計画(以下、次期中計)では M&A を実施するとのことだが、規模や対象分野は？

A：詳細は検討中です。減損リスクや成長性を勘案し、シナジー効果をどれほど引き出せるかを重視しています。対象分野については、主力事業の SE はもとより、各既存事業、新規事業など、効果的だと判断すれば、対象とします。

Q：SE 事業：3Q 売上(506 億円)は、2Q 売上(503 億円)と同水準なのに、3Q の営業利益は 80 億円(営業利益率 16.0%)と、2Q の 60 億円(営業利益率 12.0%)比で 20 億円増益(33.8% 増)の要因は？

A：2Q では、ビジネス上必要な費用計上(成長投資の増額)をしたことにより、一時的に利益率が下がりましたが、3Q では、それらの費用がなくなったことに加えて、ポストセールスが多かったことも利益の押し上げに寄与しました。

Q：SE 事業：3Q の受注(648 億円)が、11 月の想定より上振れ(100 億円以上)した要因は？

A：ファウンドリー、NAND(3D-NAND)、DRAM が想定より強かったためです。

Q：SE 事業：受注高水準が続き、売上も増加傾向にあるが、生産キャパはあるのか？

A：現状、問題ございません。主要市場での現地化、リードタイムの短縮化を行い、対応できております。

Q：GP 事業：3Q 累計の前年同期比で減収減益、下期・通期見通しを下方修正したが、今後の回復見込みは？

A：収益構造改革(「販売」「マーケティング」「開発・製造プロセス改革」などのプロジェクト)を進めており、海外での POD の販売強化などを進めながら、利益改善を目指しています。成果は来期以降(次期中計)に出せる見込みです。

Q：FT 事業：3Q の受注は 90 億円だったが、4Q 以降の見通しは？

A：3Q 同等レベルを予想しています。

Q：FT 事業：来期の市場(成長率)見通しは？

A：2016 年(暦年)と 2017 年(暦年)は横ばいと見ています。今後の投資の中心は、LCD から OLED に移行し、OLED 関連が増えていくと見込んでいます。

備考) セミコンダクターソリューション事業：SE、グラフィックアンドプレジジョンソリューション事業：GP、
ファインテックソリューション事業：FT